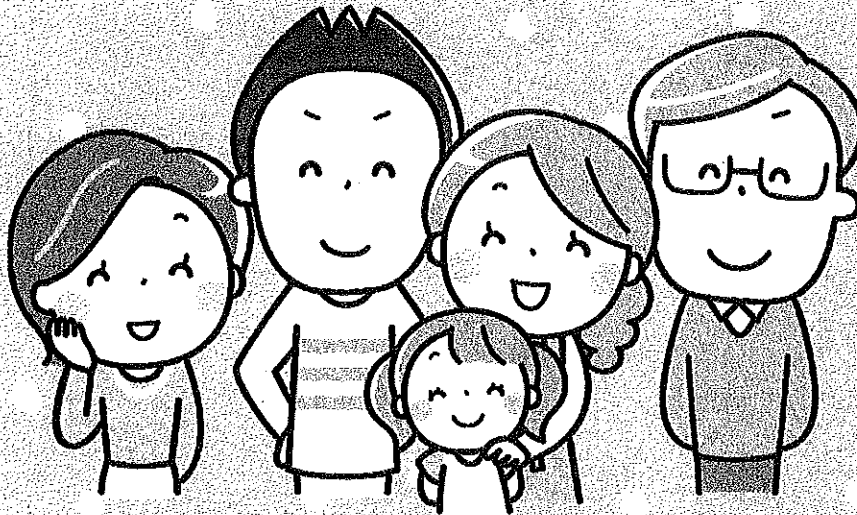


地域で困難を抱えた 子どもと家族を包むラップアラウンド



1月18日
13:00▶14:30
関西大学 堺キャンパス
B棟SB302教室 募集：100名

《申込締切》 1月8日(金) 必着

講師

くほ じゅり
久保 樹里 氏
花園大学 社会福祉学部 准教授

司会

ふくだ きみのり
福田 公教 氏
関西大学 人間健康学部 准教授

参加申込はコチラから

メールまたは、FAX・はがきにて
お申込みください!

お申し込みの詳細については、
裏面をご確認ください。



実施方法



対面

①大学で聴講



オンライン配信
(zoom)

②自宅で聴講



アーカイブ配信
(Dropbox)

③自宅で録画を聴講

で、実施します。

※②オンライン配信(自宅で聴講)もしくは③アーカイブ配信(自宅で録画を聴講)をご希望の方は、Emailでのお申込みをお願いします。

講演内容

2019年度の児童虐待対応件数の速報値は19万件を超えました。支援を必要とする子どもと家族については、要保護児童対策地域協議会での見守りが行われ、関係機関による協働・連携・切れ目のない支援が必要とされていますが、具体的な支援方法については模索が続いています。

ラップアラウンドは、困難を抱える子どもとその家族を地域で包み込むように支援ネットワークを作っていくアメリカで始まったアプローチです。チームは子どもと家族を中心にしたラップアラウンド会議を通して、支援プランを決め、実行していきます。そのプロセスでは、かつて同じような経験をした当事者が重要な役割を果たします。

従来の専門職が中心となって支援を行っていた枠組みから、当事者が中心となって問題解決をはかるアプローチへのパラダイム転換の基本理念とその実際を久保先生の児童相談所の児童福祉司としてのご経験も踏まえて、わかりやすくご講演いただきます。



App Store
からダウンロード
iPhoneの方はこちらから▶



Google Play
でインストール
Androidの方はこちらから▶

